

Cuervo y Sobrinos 取扱説明書

この度は「クエルボ・イ・ソブリーノス機械式腕時計」をお買い上げ頂き有難うございます。クエルボ・イ・ソブリーノスは、現代の腕時計に必要なとされる特性を考慮して設計されています。いつまでもその機能を保ち優雅な時を刻み続けていくように、正しくご使用ください。

時計をご使用頂く前に本書をご一読ください。

お買い上げ頂いたクエルボ・イ・ソブリーノスを日常生活のパートナーとしてご愛用頂き、これからの一瞬一瞬を共に過ごしてください。

◆使用方法

この時計は自動巻式機械時計です。

時計を身につけて動くことでローターが回転し、ゼンマイを自然に巻き上げます。また、リュウズを回してゼンマイを巻くこともできます。

止まっている時計をご使用になる時はリュウズを回してゼンマイを巻き上げて時刻を合わせてください。

ゼンマイを巻く際にはリュウズを12時方向に、約60回ほどゆっくり回して十分に巻き上げてください。巻き上げが完了してもリュウズは回すことができます。

なお、リュウズを逆方向(6時方向)に回してもゼンマイは巻き上がりません。

ゼンマイが十分に巻き上げられた状態での持続時間は、約42時間(環境により多少異なります)です。

自動巻は普通程度の活動をされる方なら、1日腕に着けていると、約42時間分のゼンマイを巻き上げることができます。活動量の少ない方は十分にゼンマイが巻き上げられない場合があります。その際は、リュウズを巻いてゼンマイを巻き上げてください。

機械式腕時計の精度は、日差が約0～±20秒位になるように調整してあります。

ただし、ご使用される方の行動や習慣の違い、温度差、ゼンマイの巻き具合、機械の磨耗度等に影響を受け、誤差が生じる場合があります。

■時刻、曜日合わせ

リュウズは2段階引き出せます。時刻合わせはリュウズを2段階引き出し(図1参照)回して合わせます。(この時、秒針は止まります。)

* 機械式時計は時刻を合わせる際、針を正しい時刻より遅らせ、そこから進めて合わせるようにしてください。

曜日を合わせる時も時刻を合わせる方法と同じ方法で合わせます。時刻を進めたり遅らせたりして曜日針を動かして合わせてください。(午前0時付近で日付針が動きません。)

■日付合わせ

日付合わせはリュウズを1段階引き出し(図1参照)、反時計回りに回して合わせます。

* 時刻表示が午後10時から午前4時までの間は日付の修正をしないでください。

この時間帯にカレンダーを修正しますと、翌日になっても日付が変わらないことがあります。

時間、日付、曜日を合わせた後は、必ずリュウズを定位置(図1参照)までしっかり押し込んでください。押し込まない状態で使用されますと汗が入って故障の原因になったり、リュウズが他の物に触れて時間が狂ったりする原因になります。

腕に時計をつけるときには、ストラップがご使用頂く方のサイズに適度に合うよう調整してご利用ください。きつ過ぎますと皮ベルトやブレスレットに負担がかかります。ゆる過ぎますと振動が時計に伝わらず巻き上げが不十分になり、進み遅れの原因になることがあります。

<図1>



→引き出す

→ →

定位置 1 2



位置1: 日付合わせ

位置2: 時刻、曜日合わせ

* 画像はイメージです。